

ひらくびつかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM '86 9月号



サマーセミナー

7月30日～8月1日にかけて、夏休み恒例のサマーセミナーが2泊3日で行われました。この行事は今年で8回目を迎え、小学校5年生～中学校3年生を対象に、宿泊して共同生活をしながら自然を観察し、人々の暮らしに学ぼうというものです。

1日目は、午後から「なるほど・ザ・土屋」と題したオリエンテーリングが行われました。これは地図に記された12の観察ポイントを班ごとに分かれて回り、そこで指示された観察を行うというものです。地図の見方、虫探し、石塔しらべ、畑の作物、木の生え方など、バラエティに富んだ質問を解きながら、地図と磁石を片手に各班とも精一杯歩きまわりました。

2日目は「土屋を調べる」と題し、「水の汚れと生物」「亜炭層と化石」「水の利用と地形」「遺跡を調べる」の4つのテーマに分かれて観察しました。

「水の汚れと生物」では座禅川の中を土屋橋付近

まで歩き、水生生物の種類や量を数か所で観察し、水の汚れとの関係を考えました。

「亜炭層と化石」では崖の地層を観察し、植物などの化石が含まれているかどうかを調べ、かつて土屋にあった潮の分布や環境を考えました。

「水の利用と地形」では水田の広さや高さ、水温などを調べ、どのように地形を生かして水を水田に利用しているのかを考えました。

「遺跡を調べる」では遠藤原の作物を作っていない畑から土器や石器を探し、縄文時代や弥生時代の人々の生活ぶりを考えました。好天の非常に暑い1日でしたが、帰って来てたべたスイカで疲れも吹っとびました。

その夜から3日目の午前中にかけて各観察班ごとに分かれて、自分達で調べた結果を模造紙にまとめ、最後に班ごとにみんなで発表しあいました。身近かな自然や生活環境の中にも、角度をかえれば、様々な発見があることをみんな知ってくれたことと思います。（森）

サマーセミナー'86レポート



・真剣な面持ちでオリエンテーリングの説明を開くお友達。



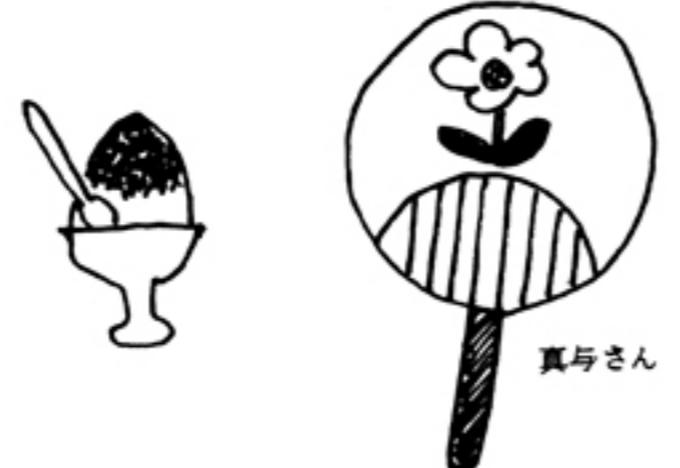
●お元気ですか 河野恭子さん（豊田本郷）

お元気ですか!! 2泊3日で行われたサマーセミナーに、初めてわたしは参加しました。友だちもたくさんでき、先生方ともおしゃべりするぐらい、にぎやかでとても楽しかったです。オリエンテーリングの時、シルバーコンパスを使ったやり方がむずかしくて、ボランティアの内田さんや、中一の今井さんにたよってばかりでした。来年はわたしが、5~6年生にそういう事ができるか心配です。浜口先生の指導によって、川の中を歩いたという事はとても楽しく、反対にとてもたいへんな事もありました。でも、いろんな生物を見付けるのはとても楽しかったです。

2日間と半日の間に、いろいろな事を学び、男の子たちとやった野球、みんなの前で生物の発表をした時のきんちょう感など、わすれられないすてきな思い出も、つくれました。来年もぜひ行きたいです。

●またおしえてね 坂上真与さん（桃浜）

今日は。サマーセミナーの時はありがとうございました。わたしは一人でさんかしたので、心配していました。でもボランティアのお兄さんお姉さんが、やさしく楽しくしてくれたので、行ってよかったです。それから博物館の先生に、いろいろ教えていただいて、よかったです。またいろいろおしえてください。さようなら。



真与さん



・出ぱーつ。班ごとに指示された観察をし、問題を解きながら進む。5 Km 1 2 ポイントのコース。



・明石学芸員の説明を聞く



・お母さん、僕がついてるよ

身近にあるものを使って何かを作つてみよう。この提案があつた時、明石学芸員は即座に「土」に決めたという。体験学習の土器づくりはこうして始まつた。母と子のペア10組の参加者は、本物の土器をお手本にして、絵つけ台の上に土を重ねてゆく。ひも作りである。熱い手でこねまわすので、じき干からびてしまう土に水を打ちながら、ていねいにはりつけてゆく子、物差しで胴まわりをたたく子、仕上げの縁造りにこぎつけたもののこつちを切るとあっちが高く、高いから切ると今度はこっちが高くなつてしまい、ため息を連発する子--「子どもの手伝いにゆくつもりで来たのですが、土こねは本当に大変でした。でも楽しいですね」と繩の小沢さん。董平の加藤さんは「子どもが社会科でやっているものですから」といささか照れ加減に仰言るが、どなたも腕前はちょっととしたものだ。パンこねやケーキのデコレーション経験が役立つているのかも知れませんね。17日野焼きしたら?もちろんうちに飾つておきまーす!と、はじけるような声がかえつて來た。土器が煮炊きの道具なら、水の洩れぬよう火の通りのよいよう土を選び形に工夫をこらしたに違いない。土器に刻んだ飾りつけは素地のひき締め補強の意もあるが、暮らしを楽しみいつくしむゆとりさえ伺える。考古にくらい目は、つい夢見がちになるのである。

(和田)

●体験学習 "土器作り"

つくる 8/6~7
焼く 8/17・23





・座禅川を歩く。泥だらけ！汗びちょびちょ!!
歩くことはつかれる事だとわめく。水生生物を調
べていたらでっかいヒルを見つけてしまった。

・歩くのは大変だった　浅野知充君（高浜台）
3日間の七国荘での体験は、とても楽しかった。
でも、いつも家にあるテレビがなかったので、不
便だと思ったけど、ここにテレビを見に来たわけ
でなく、勉強に来たのだから、そう思わなくて
もいいと思った。「親からはなれた生活」は、今
回初めてだったけど、遊びではなく勉強のひとつ
だということが分かりました。その他思ったこと
は、歩く事は大変だと思った。いくら道が短かく
てもきびしい所だと、長く歩いたような感じさせ
られた。川を歩いた時でも、1km歩いたように思
ったのに、岸に上がったら浜口先生に何歩いた
か聞くと、「300m」と言われてびっくりした。
歩くことは楽なことではない。つかれる事である
と思った。来年も参加したいです。さようなら。



・畑の中に土器を発見した考古班



・行ってよかった！　吉野伸子さん（新町）

私は初めはサマーセミナーには遅にかってに決
められて、行きたくないと思ったけど、行って知
らなかつた言葉とか、知らなかつた虫とかが、わ
かるようになって、サマーセミナーに行ってよか
ったと思った。谷戸田と言う言葉も初めて知った。
アキニシキ（稻）なんて言う品しゅがあるなんて
知らなかつたし、休耕田と水の入っていない田の
わけも分かつた。5年の時に行つていれば、社会
の勉強で役に立つたのにと思った。



・地層から植物の化石を捜す地質班



● つかれたけど

今井久美子さん（南原）

今回のサマーセミナーは2回目だったので、昨年より気楽に行けました。1日目の「オリエンテーリング」と、2日目の「土屋を調べる」というのがつかれました。「土屋を調べる」の中で、私は考古班の遺跡調べでした。いろんな所をたくさん歩いたので、あせでべとべとなってしまいました。とにかくつかれた。

友達がいい人ばかりだったので、よかったです。3日目、ばててしまって、ねてました。まとめの時に出られなくて、同じ班の人いわるいことをしてしまいました。先生方にもめいわくかけてすみませんでした。

この3日間で、いろんなこと勉強になりました。とても楽しいサマーセミナーでした。いろいろどうもありがとうございました。

・自分たちの調べた結果を発表する

● 博物館の方々へ 大橋聰子さん（黒部丘）

サマーセミナーの3日間、とても楽しかったです。中学生の人達も仲良くしてくれました。先生方もやさしく、いろいろなことを教えてくださいました。サマーセミナーに参加すると、学校では教えてもらえない化石のこと、土屋のこと、くわしく分かり、友達に教えてあげられて、少し人気者になりました？

私が考えたんですけれども、サマーセミナーのような事を、毎年4回（春夏秋冬）行うと良いと思います。もしそうなったら、絶対私は、4回とも参加します。本当にありがとうございました。



● 特集 サマーセミナー

7/31/～8/2(2泊3日)：七国荘

☆行事案内☆

9月

6	土	古文書講読会
6	~10	/26 プラネタリウム天の川のうた
13	土	石仏を調べる会・土曜観察会
20	土	古文書講読会
21	日	自然観察会(中井町)
26	~10	/30 道具の歴史
27	土	土曜観察会
"	"	石仏を調べる会
28	日	地層観察会(箱根仙石原)

10月

4	土	古文書講読会
9	木	星を見る会(秋の星座と月・木星を見よう)
11	土	土曜観察会・石仏を調べる会
12	金	地層観察会(山北町塩沢)
18	土	古文書講読会・天体観察会

7/15~9/21 烏海青児素描展
9/26~10/30 道具の歴史Ⅱ
10/1~28 幼稚園団体プラネタリウム

●河から土器が

さる8月9日と12日の2回にわたり、平塚市南豊田に住む大橋貴之氏(立正大学生)より、たくさんの土器と獸骨が博物館に持ち込まれた。氏によると、豊田平等寺の西を流れる鈴川の中州より採集したが、どうも河川幅改修により流れ込んだものらしいとのことである。同地点は市の遺跡分布地図には登録されていない所である。つまり新しい遺跡が氏によって発見されたことになる。特に伊勢原街道より西の平等寺周辺では全く遺跡が見つかっていないだけに、その発見には意義深いものがある。豊田の新たな歴史の一端を垣間見ることができ、氏に厚くお礼申し上げる。(A)

●寄贈品コーナー「道具の歴史Ⅱ」

期間 9月26日~10月30日

内容 身近にある道具の歴史を、考古・民俗資料を使って考えてみます。

●星を見る会「月・木星・秋の星座」

上弦前の月面・木星などを望遠鏡で観察します。

日時 10月9日(木)18時~20時

場所 博物館科学教室・屋上

参加自由。当日、博物館入口左の科学教室にお集まり下さい。

●ようちえん向け投影

10月1日~28日の金曜を除く平日に、ようちえん団体向けのプラネタリウム投影を行います。観覧の予約とお問い合わせは博物館管理係まで。



弥生時代後期の壺(残存高11.3cm)